

目標人口（案）

◆将来人口の見通し

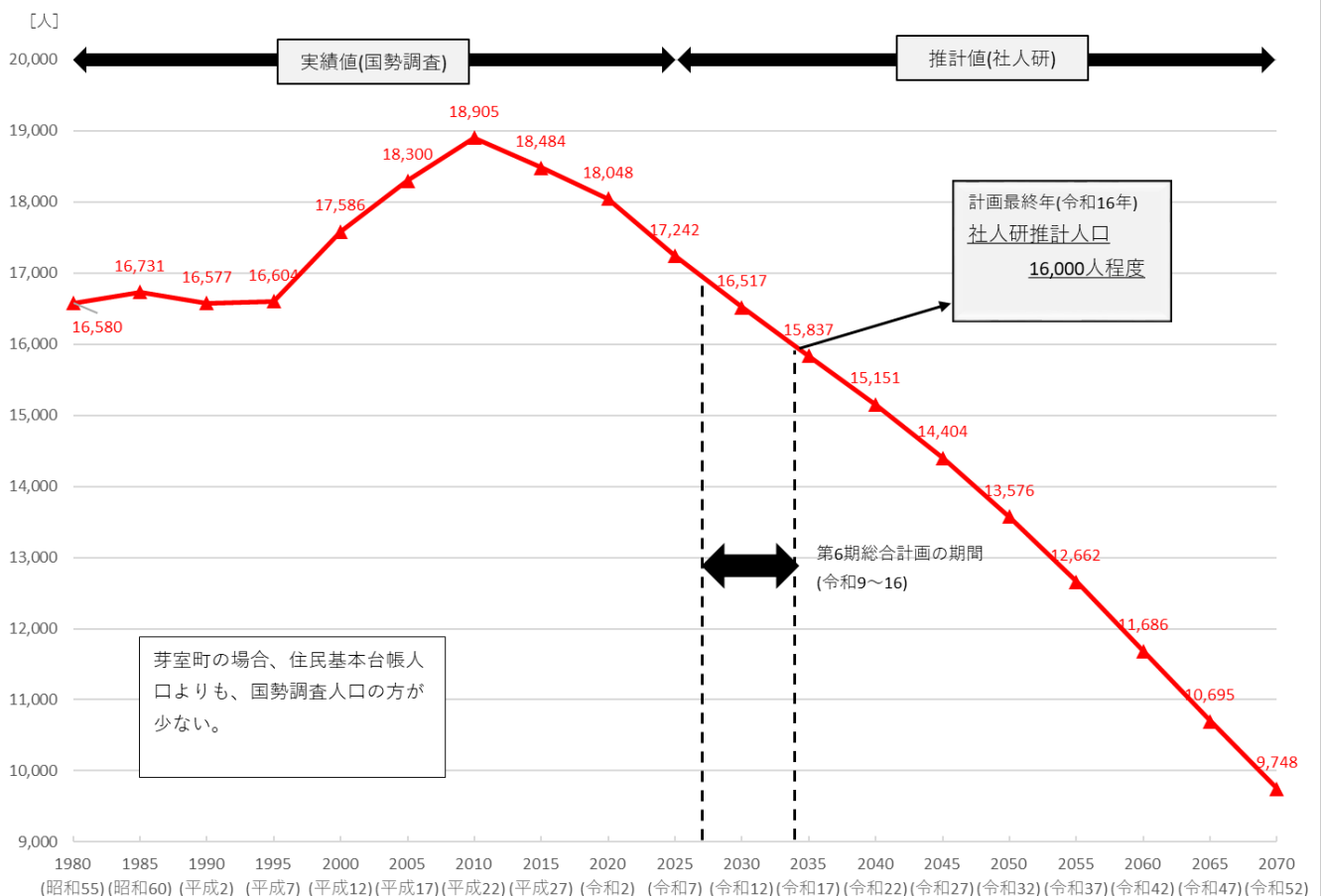
本町の人口は、1975（昭和 50 年）から 1995（平成 7）年頃までは、ほぼ横ばいで推移し、2002（平成 14）年度から開始した東芽室地区の宅地開発による帯広市など十勝圏域からの流入により人口が増加していましたが、2010 年（平成 22）年国勢調査をピークに人口減少に転じています。（以下、人口は国勢調査ベースの数値）。

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計によると、本町の人口は、2010（平成 22 年）の 18,905 人をピークに、減少の一途をたどり、2055 年（令和 37）年には 12,662 人にまで減少すると推計しています。

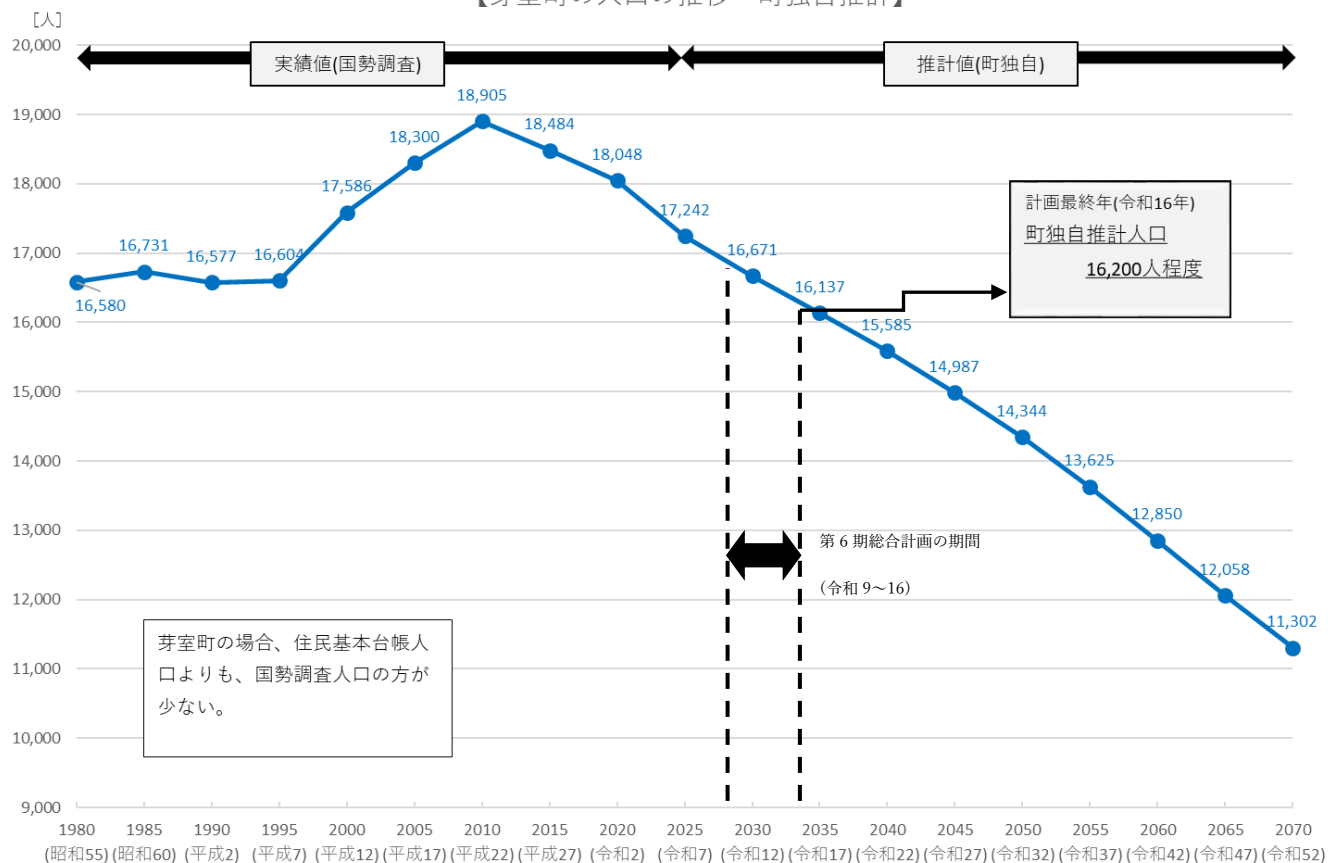
このような背景から、国においては、少子高齢化や人口減少に的確に対応するため「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、本町においても、2015（平成 27）年 9 月に「芽室町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（総合戦略）を、2025 年 3 月に「第 3 期総合戦略」を策定しています。

なお、今後の本町の人口推計は、少子高齢化と人口減少への的確な対応など今後の施策展開により、2055（令和 37）年には 13,625 人、第 6 期芽室町総合計画の計画最終年となる 2034（令和 16）年は、16,200 人としています。

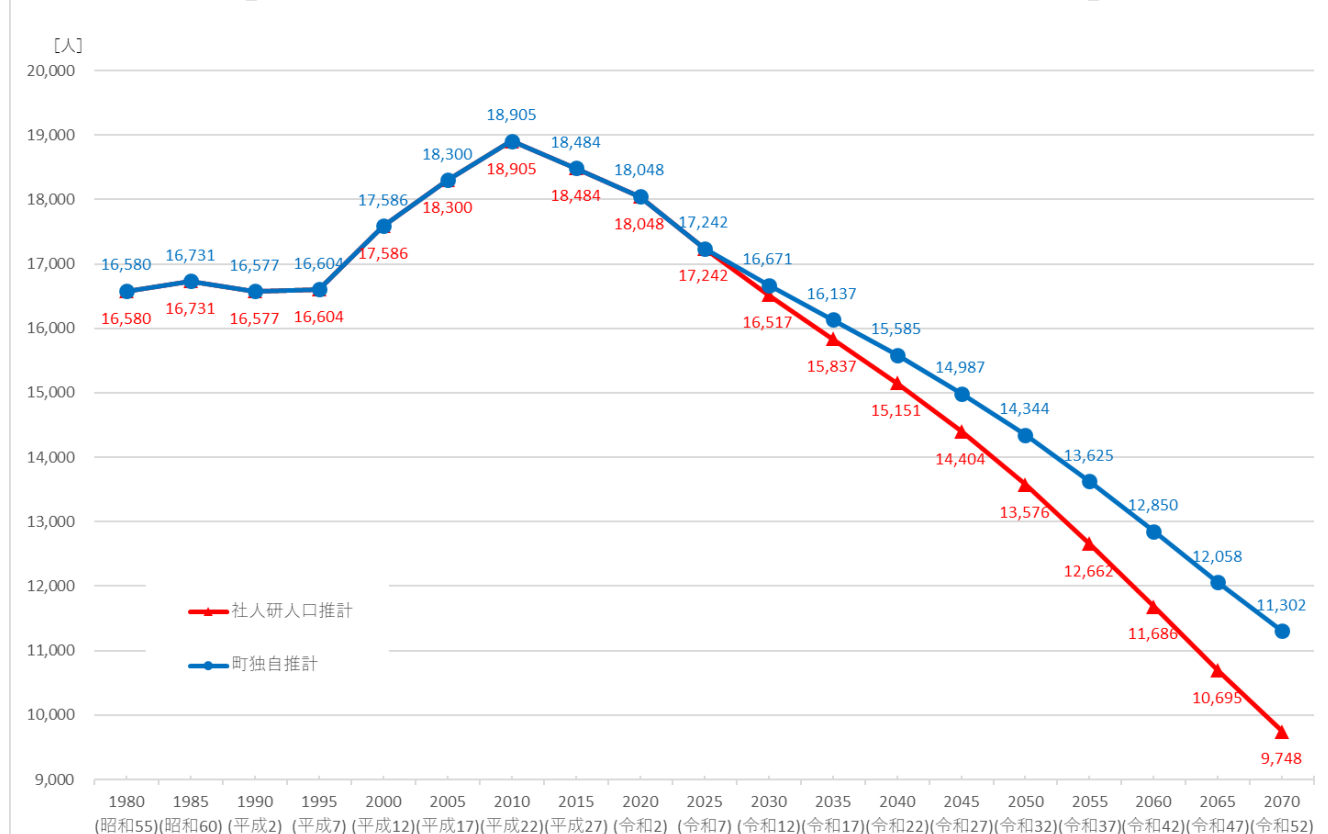
【芽室町の人口の推移～国立社会保障・人口問題研究所（社人研）推計】



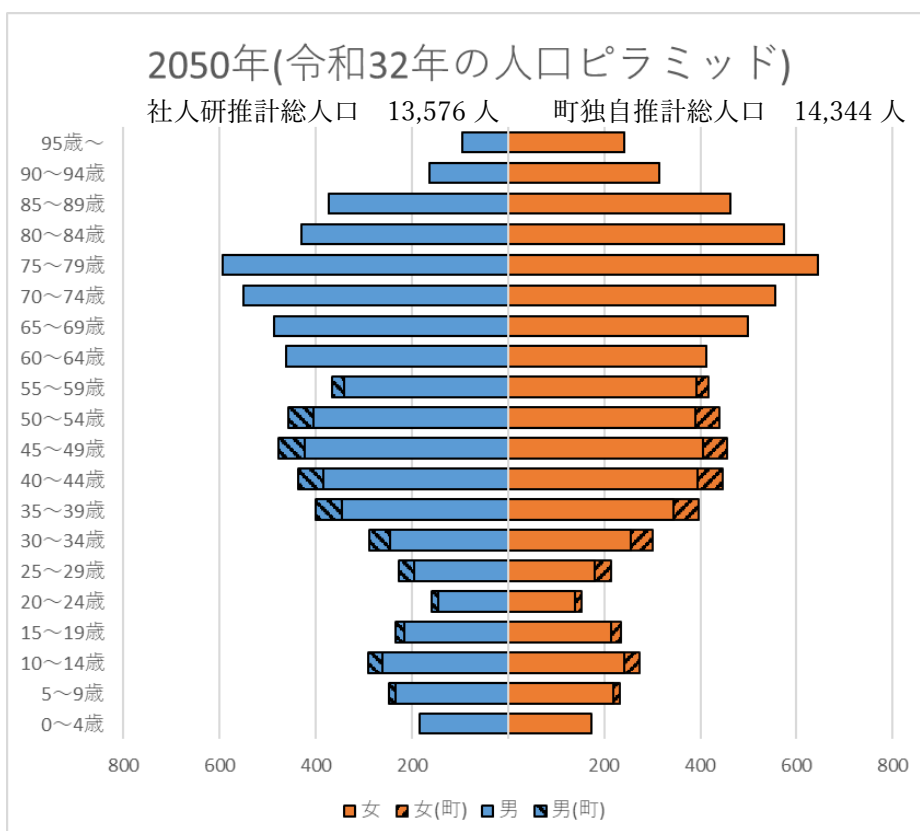
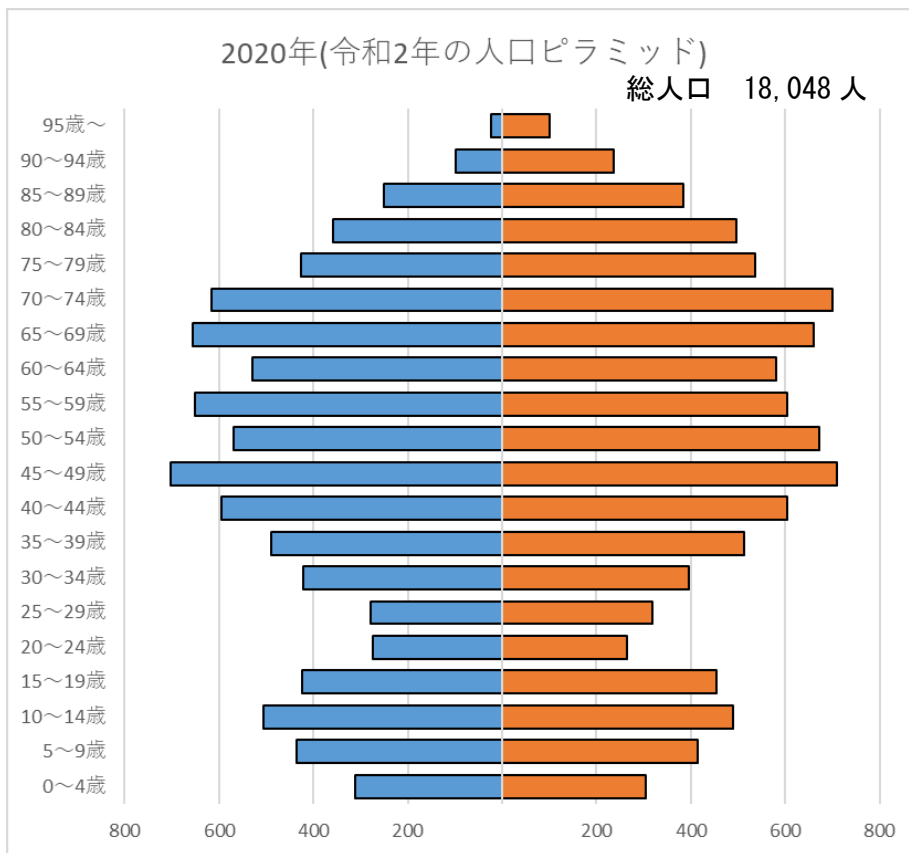
【芽室町の人口の推移～町独自推計】



【芽室町の人口の推移～社人研推計と町独自推計の比較】

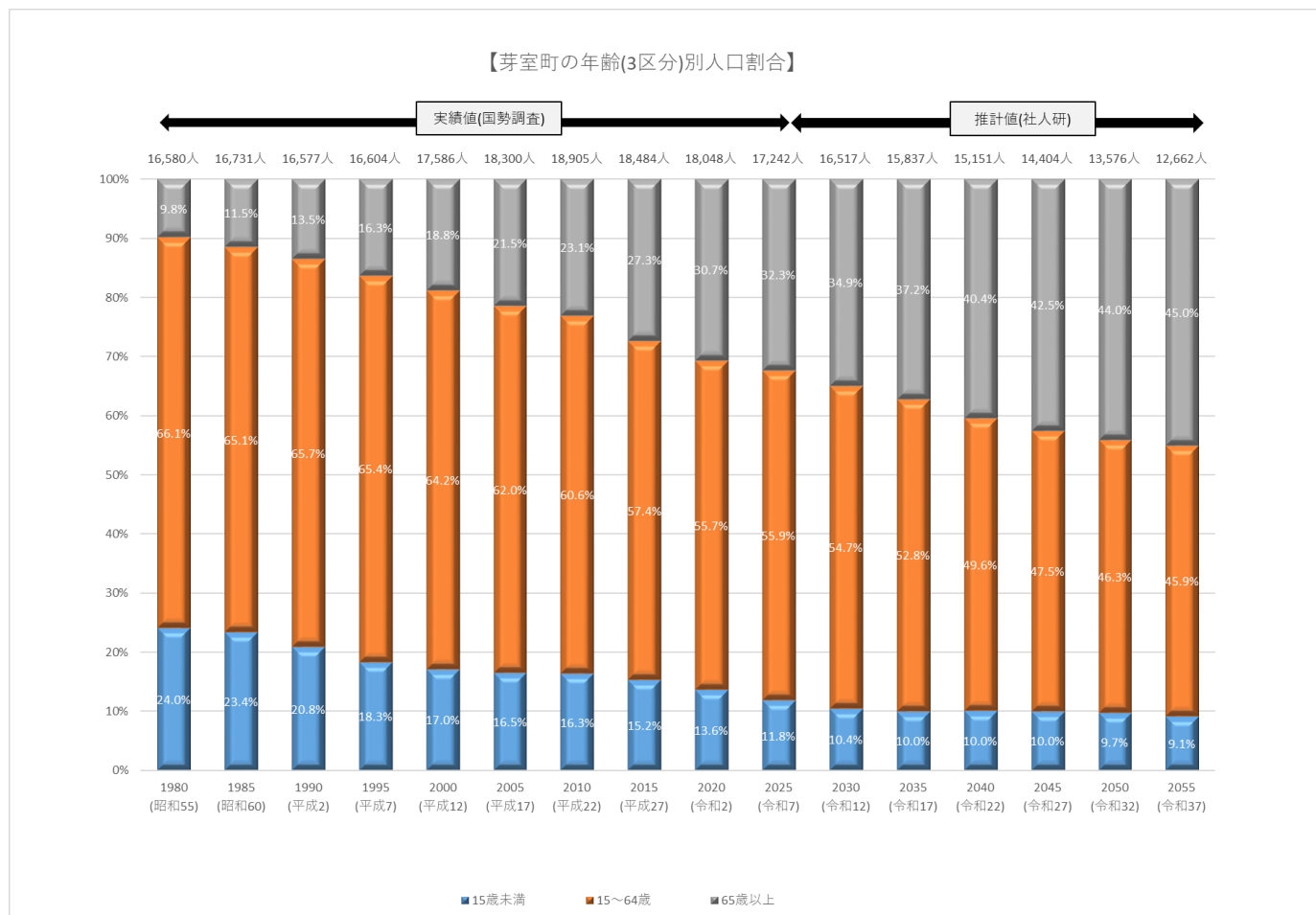


2020（令和2）年の人口ピラミッドと、社人研及び町独自推計の2050（令和32）年の人口ピラミッドを比較したものです。2050（令和32）年の人口ピラミッドのうち、斜線部分が町の施策が達成された場合に反映される推計の部分です。



◆年齢（3区分）別人口の見通し

2020（令和2）年国勢調査時点での本町の高齢化率（65歳以上）は、30.7%と全国平均（28.6%）を上回っており、なお上昇する傾向にあります。逆に年少人口比率（14歳以下）、生産年齢人口比率（15～64歳）は低下すると推計され、今後、本町における少子高齢化の傾向はますます強まるものと予測されます。



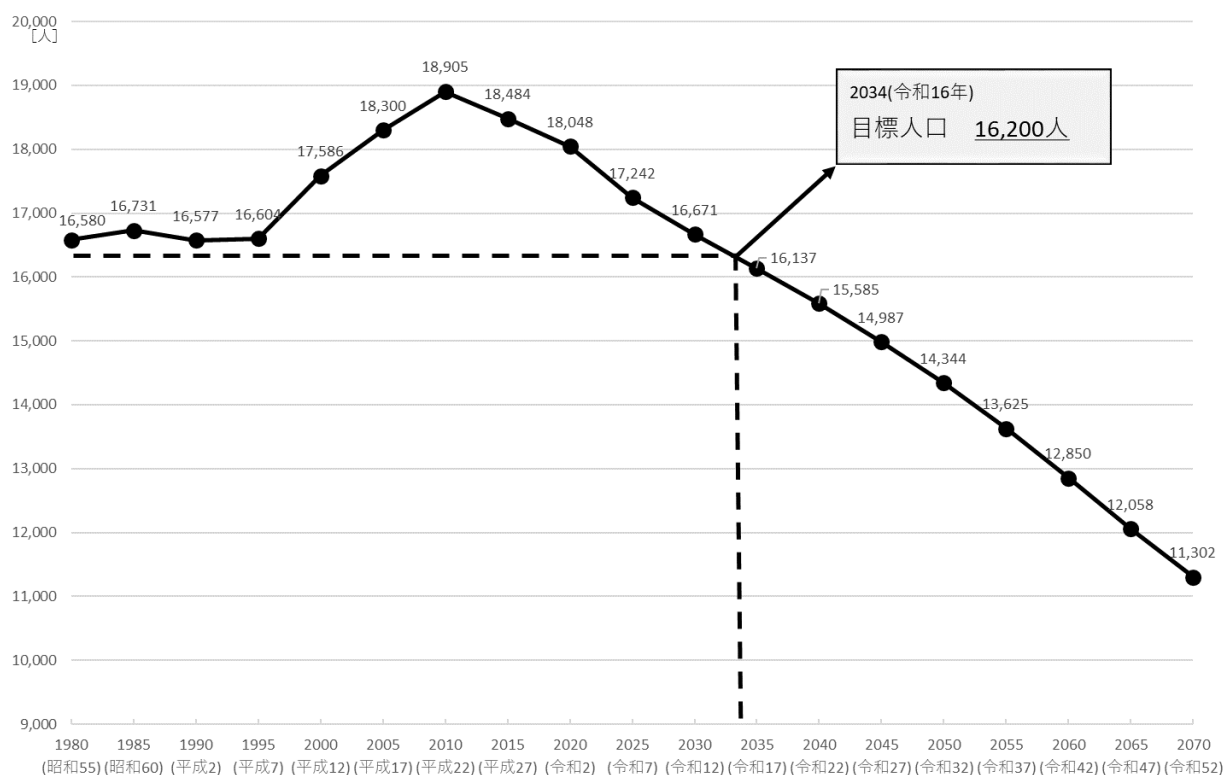
◆目標人口の設定

2034（令和16）年度における目標人口16,200人（国勢調査ベース）

本町の総人口は、国立社会保障・人口問題研究所における推計を基にすると、第6期芽室町総合計画の最終年となる2034(令和16)年には、16,000人程度になると予測されており、人口減少がますます進むことが予測されています。この推計は2020(令和2)年の国勢調査を基準とし、将来の生残率や移動率などから算出されたものです。

本町としては、農業や商工業の振興、「夢育・郷育」を基軸にした教育、安心して生み育てることができる子育て支援施策、シティプロモーションなど、町の施策の効果が着実に反映され、合計特殊出生率の概ね維持や移住・定住を促進することで、2034（令和16）年度の目標人口を16,200人とします。なお、その際の年齢構成は、年少人口1,656人(10.2%)、生産年齢人口8,695人(53.7%)、高齢者人口5,849人(36.1%)としています。

区分	実績値 2020(令和2)		推計値 2034(令和16)		目標値 2034(令和16)	
総人口	18,048	100%	15,973	100%	16,200	100%
年少人口(0～14歳)	2,462	13.6%	1,607	10.1%	1,656	10.2%
生産年齢人口(15～64歳)	10,047	55.7%	8,501	53.2%	8,695	53.7%
高齢者人口(65歳以上)	5,539	30.7%	5,865	36.7%	5,849	36.1%



【芽室町の2034(令和16)年度における目標人口】

【芽室町の人口の推移～社人研推計、町独自推計、まちひとしごととの比較】

参考資料

